

## 「光の道」構想に関する意見

意見提出元	株式会社ルートレック・ネットワークス
意見項目	意見内容
<p>1. 超高速ブロードバンド基盤の未整備エリア(約10%の世帯)における基盤整備の在り方についてどのように考えるか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一律敷設という整備はブロードバンドの利用率を見ながら慎重に進めるべきであるとする。</li> <li>・また敷設の際にはFTTHに固執せずに、各種無線技術(LTE、WiMax、Wi-Fi、新方式)等、広く無線方式については比較検討して頂きたい</li> <li>・敷設コスト(システム価格と設置費用)のみならず年間の維持管理コストも重要と考える</li> </ul> <p>追伸: 「光の道」はファイバー敷設ととらえがちですので、「ひかりの道」として「ひかり号が東西を繋ぎ日本の経済発展に寄与した」事をイメージする方がイメージしやすいと思えた。</p>
<p>2. 超高速ブロードバンドの利用率(約30%)を向上させるためには、低廉な料金で利用可能となるように、事業者間の公正競争を一層活性化することが適当と考えられるが、NTTの組織形態の在り方も含め、この点についてどのように考えるか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用率拡大の為には、使いやすい料金体系とオープン化が必要と考える。大企業の為の政策では無く、中小企業、ICTベンチャー企業が Small Stat 出来る環境作りが重要と考える。</li> <li>・まずは現状で改善できることからお願いしたい。例:東京から福岡までのフレッツVPN接続を行うには、NTT東とNTT西に各々にVPN契約の他に東西接続費用をダブルで払わなければならない。</li> <li>・東西に分離している為の無駄、運用管理コスト、設備などのダブリを排除し、その資金を新規投資に回して頂きたい。</li> <li>・FTTHの切り出しは既存大手キャリアにメリットが出るより、むしろICT関連ベンチャー企業がこのFTTH網を事業成長の礎として利活用した新事業、新サービスの創出し、大手企業と競争できる環境作りを検討して頂きたい。</li> <li>・NGNのアプリケーションが音声以外に存在していない。そこでまずはLGWANの様な組織体が霞ヶ関クラウド、自治体クラウドを構築してそれを安い利用料金にて自治体に提供する等のスキムで、「クラウドによる一元化」による無駄を省いた運用管理とサービス体制を築いて頂きたい。またNGNを政府による利活用したNTTの収入は、利用者料金を下げる、新規技術への投資など見える形をお願いしたい。</li> </ul>